

今昔物語

その39

旅館「御船荘」

成川地区



昭和10年代前半

提供：二村さん



現在

今回は、成川深谷地区にあった旅館「御船荘」の写真をご紹介します。この写真は成川の二村勘子さんのお宅にあったもので、昭和10年代の前半に撮影されたものだそうです。

写真中央部には大きな建物がいくつも立ち並んでおり、現在の写真と比べてもその大きさは圧巻です。また、夕暮れ時に撮影したのが、旅館の灯りが川に反射しています。

二村さんにお話を伺ったところ、これらの建物すべてが旅館だったそうです。大広間は100畳もの広さがあったほか、鮎田から温泉を引いており、筏師などが利用し、とても賑わっていたということです。

残念ながら、この旅館は昭和18年に火事で消失してしまい、その後は、住宅や民家などが建設され、今の姿となっています。

昔の風景写真を募集します

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限る、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただき、詳しくは、役場企画調整課(☎33-0334)までお問い合わせください。

ひょうたん屋

三重県広報コンクール(町部)で特選を受賞

「令和元年三重県広報コンクール」の審査が先日行われ、性の多様性の特集などを掲載した「広報きほう12月号」が広報紙部門(町部)で特選を、広報きほう10月号の表紙が一枚写真の部で入賞しました。

これもひとえに、取材やインタビューを引き受けていただいた方々をはじめ、広報に關わっていただいたみなさんのおかげです。本当にありがとうございます。



広報の部(町部) 特選の広報12月号

これからもみなさんに楽しんでいただける広報紙を目指しがんばりますので、応援よろしくお願いします。(みなさんの感想が励みです 愛野裕基)

節分といえは

いきなりですが、節分というと「豆まき」と「恵方巻」を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。今回は恵方巻の食べ方について少しお話したいと思います。

ネットで調べてみると、恵方巻を食べる時には、①太巻きを1本包丁で切らずに用意する。(太巻きを包丁で切ってしまうと、縁が切れたり、福が途切れてしまうため)②その年の恵方を向く。③願(ご)ことをしながら黙々と食べる(食べているときに話すと、願いごとや福が逃げてしまうため)、というような正しい作法があることを最近、初めて知りました。

ちなみに、節分の日に僕の家では、母が包丁で切ったであろう太巻きが食卓に並んでいました。

(新年早々、福が途切れた男 田中健太郎)



広報担当 田中けんたろう



広報担当 愛野ゆうき